

登録コード	TSH85500	開講年度	2026				
授業科目	情報システム制御融合領域特別実験					担当教員	千田 有一 他
英文授業名	Information Systems and Control Laboratory 2					副担当	吉田 尚史・種村 昌也
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	情報数理融合システム分野修士1年生，2年生
講義室			授業形態	実験	備考		
信大コンベンション	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 4 TSカリ						
	【研究科共通】人類，社会の平和的・持続的発展のために，研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				制御理論に関する高度な専門知識と実践的技術を活用できるようになる		
	【研究科共通】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力				制御理論に関する高度な専門知識と実践的技術を活用できるようになる		
	【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				制御理論に関する高度な専門知識と実践的技術を活用できるようになる		
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				PythonやMATLABを活用して制御理論の応用方法の基礎を修得する		
	2 6 TSカリ， 2 5 TSカリ， 2 4 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				制御工学の基礎知識を応用して課題解決が図れるようになる		
	【専攻】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				制御理論に関する高度な専門知識と実践的技術を活用できるようになる		
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				制御理論に基づいた客観的な説明ができるようになる		
(2)授業の概要	制御工学に関連する課題を設定し，課題解決方法について検討する．さらに，その結果を発表する．						
(3)授業計画	制御工学に関連する基本的な文献の輪読，研究発表．						
(4)成績評価の方法	研究発表や課題の進捗状況によって総合的に判断する．						
(5)成績評価の基準	制御工学に関する基礎と応用に関する理解度に応じて成績評価する。基礎的な理解が十分に得られている場合には合格とし、さらに発展的な内容の理解に到達している場合にはより高い評価とする。						
(6)事前事後学習の内容	十分な事前事後学習が望ましい．						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	適宜．						
(9)その他							
【教科書】	指定しない．						
【参考書】	指定しない．						